

■オックスフォード大学とスコットランド国立図書館収蔵のヴォーン卿文書

19 世紀前半の英米関係

- C・ヴォーン卿文書 -

International Relations Between Britain and America, 1796-1848

駐米イギリス大使が見たイギリス・アメリカの国際関係

チャールズ・ヴォーン卿 (1774-1849 年) は、1825 年から 1835 年までの期間、駐米イギリス大使を務めたキャリア外交官でした。本コレクションには、ワシントン駐在時代の前後を含む、ヴォーンの個人的・職業的な文書が収められています。これらの文書は、大西洋間の通商やアメリカ北東部の国境問題から、奴隷制度、そしてジャクソン政権下でのネイティブ・アメリカンたちの経験に至るまで、数多くの重要な主題や出来事に光を当てています。さらに、本コレクションには、ヴォーンの前任者の一人であるロバート・リストン卿 (1742-1836 年) の文書も含まれており、18 世紀後半の英米関係について独自の洞察も提供しています。

ヴォーンとリストンの個人的な書簡は、アメリカ合衆国における外交官の日常生活についての洞察を提供しています。本コレクションは、主に 1825 年から 1835 年の期間におけるヴォーンと、様々な英米の外交官や政治家との間の往復書簡で構成されています。リストン卿の文書 (1796-1801 年) は、本コレクションの中では小さな部類の文書群です。アメリカとカナダの間で深刻となっていた国境問題が、リストンとヴォーンのアメリカ駐在時代、イギリス政府にとって大きな関心事であったことは明らかです。この国境問題は他のどのテーマよりも頻りに書簡や報告書に登場しています。大西洋間の通商や奴隷貿易もまた、書簡や報告書において重要なテーマとして頻りに取り上げられています。



大学・学術機関向け価格

FTE (学生数+教職員数)	3,000~4,999	5,000~9,999	10,000~19,999	20,000~29,999	30,001 以上
Archive 買い切り価格	価格は弊社までお問い合わせください				

※大学・学術機関向け IP 接続・同時アクセス無制限でのご利用となります。

※Archive 買い切りの**年間管理費 (Annual Hosting Fee)**は**不要**です。

※正式な見積価格は最寄りの弊社営業員に別途ご用命ください。

トライアルも承ります!! 詳細お問い合わせは弊社まで

日本総代理店 **極東書店**

FAR EASTERN BOOKSELLERS
KYOKUTO SHOTEN LTD

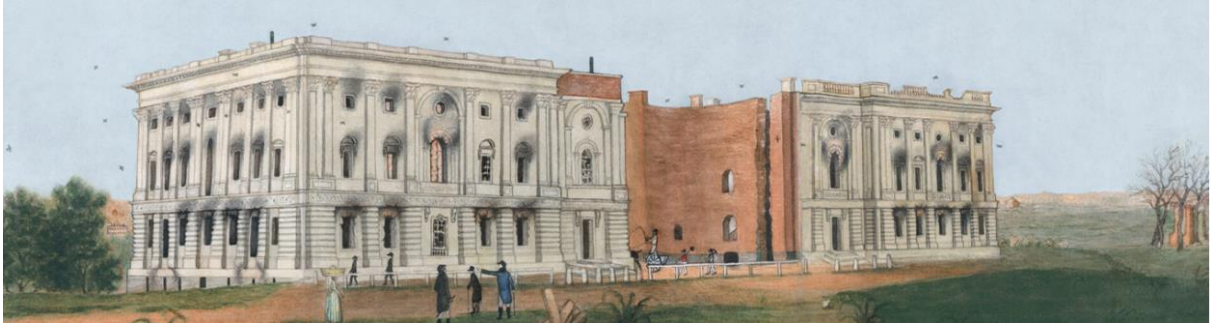
〒101-8672 東京都千代田区神田三崎町 2-7-10 帝都三崎町ビル
〒600-8357 京都市下京区柿本町 579 五条堀川ビル
〒810-0073 福岡市中央区舞鶴 1-3-14 小榎ビル

03(3265)7531 FAX (3556)3761
075(353)2093 FAX (353)2096
092(751)6956 FAX (741)0821

URL:<https://www.kyokuto-bk.co.jp>

E-mail:info@kyokuto-bk.co.jp

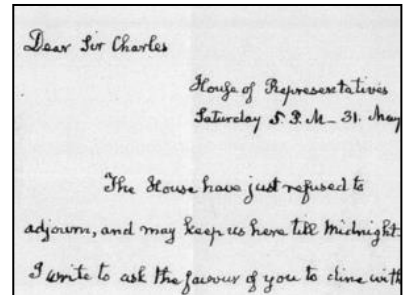




■ 9つのパートに整理されたアーカイブ

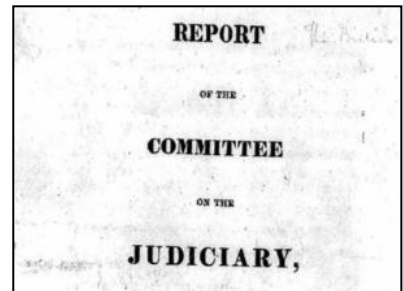
1. General correspondence, 1822-1848

チャールズ・ヴォーン卿は、「誰からも好かれ、敬愛されていた人物」と伝わっており、そのためアメリカと母国の両方で幅広い人脈を築きました。本パートには、1822年から1848年の期間のヴォーンの一般書簡が収められています。書簡には、アメリカの政治の性質、英米関係、奴隷制度などが含まれています。また、ワシントンにおける高位の外交官の日常活動について興味深い洞察を提供しています。著名人に関する書簡としては、ジョン・クインシー・アダムズ、第7代大統領アンドリュー・ジャクソン、パーマストン卿との間で交わされた書簡が含まれています。



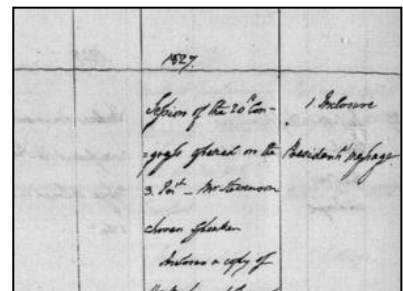
2. Official correspondence, 1826-1836

本パートには、1826年から1835年の期間のチャールズ・ヴォーン卿の公的な書簡が収められています。文書の大部分は、実務的および手続き的な事項に関するものです。そのため、駐米大使、外務省、アメリカ合衆国政府の間の関係についての有益な概観を提供しています。主題としては、通商と奴隷制度が大きく取り上げられていますが、ヴォーン卿の健康問題や年金に関する記述も見られます。



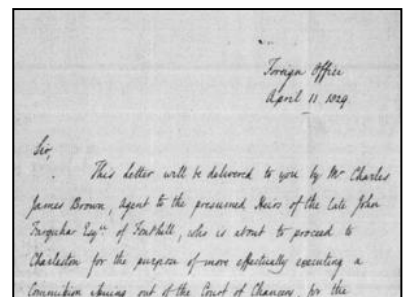
3. Summaries of dispatches, 1825-1835

本パートには、1825年から1835年の期間にヴォーンと在ワシントン英国大使館が送受信した公電の要約が収められています。これらの文書には、外務省およびイギリスとアメリカ合衆国政府の他の部局との間で送受信された公電が含まれています。また、ジョージ・カニングやパーマストン卿などの外交官とのヴォーン卿の書簡も含まれています。



4. Political correspondence, 1811-1848

本パートには、1811年から1848年の期間のヴォーン卿の政治書簡が収められています。幅広い主題が扱われていますが、書簡の多くは大西洋間の通商とカナダとの国境問題に関するものです。このコレクションの他の巻と同様に、サー・ジョージ・カニング、パーマストン卿、アバディーン伯爵が頻繁に登場します。



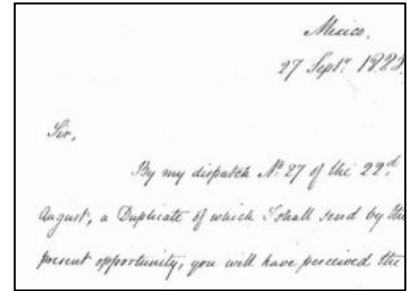
5. Papers relating to North America, 1824-1846

本パートには、ヴォーンおよび英国大使館が編纂した北アメリカに関する文書が収められています。これらの文書は、19世紀初頭の英米間の外交・通商関係について包括的な概観を提供しています。扱われている主題は、北東部境界線問題や植民地貿易から、奴隷制度やアメリカの国内政治にまで及んでいます。また、サー・ジョージ・カニング、ダドリー子爵、アバディーン伯爵、パーマストン卿への公電の要約(1825-1834年)も含まれています。



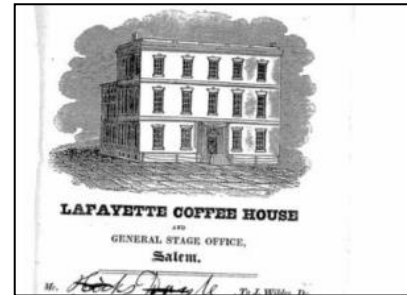
6. Papers relating to South and Central America, 1825-1834

本パートには、ヴォーンがワシントン駐在時代に編纂した南アメリカと中央アメリカに関する文書が収められています。文書の大部分はメキシコに関するものですが、キューバ、グアテマラ、1826年のパナマ会議についても様々な長さで論じられています。また、テキサスにおけるアメリカの影響力と意図に関する資料も含まれています。



7. Travel journals, 1825-1833

1825年から1833年にかけてヴォーンが北アメリカ各地を旅行した際に付けていた日誌が収められています。



8. Miscellaneous papers, 1825-1842

1825年から1842年の期間にヴォーンが編纂した雑多な文書が収められています。その多くは、ヴォーンが駐米大使を務めていた時期の新聞切り抜きです。英米関係、アメリカの国内政治、アメリカ経済、アメリカの軍事問題、アメリカの関税政策、北東部境界線問題、オレゴン問題、西インド諸島との貿易などが扱われています。また、ロバート・オーウエンの選集、ジョセフ・ランカスターが執筆したリーフレット、ジョージ・W・フェザーストンホーによるワシントン条約に関する所見など、様々な印刷物も含まれています。



9. The Robert Liston papers, 1796-1801

ロバート・リストン卿(1742-1836年)は、著名なキャリア外交官で、1796年から1800年にかけて駐米イギリス大使を務めました。本パートには、フィラデルフィア駐在時代のリストンの個人的・職業的な文書が収められています。これらの文書には、イギリスの外務大臣ウィリアム・グレンヴィルとの間で送受信された公電の要約が含まれています。また、英米関係や、英米のフランス・スペインとの関係、そして難しい問題であったアメリカ・カナダ間の国境問題に関する豊富な資料も収められています。リストンの妻ヘンリエッタ・マーチャントの日記は、18世紀後期のイギリス外交官の生活を鮮やかに描写しており、また、リストン夫妻とジョージ・ワシントン大統領との関係についての洞察も提供します。



■BOAのご利用で日本国内に居ながら原資料を閲覧することが可能になります。印刷やダウンロードも可能なため、原資料へのメモやコメントの書き込みや線を引いたり、付箋を貼るなど柔軟な活用ができます。

British Online Archives の詳細お問い合わせは弊社まで



日本総代理店 **極東書店**

〒101-8672 東京都千代田区神田三崎町 2-7-10 帝都三崎町ビル

TEL: 03-3265-7531 FAX: 03-3556-3761 <https://www.kyokuto-bk.co.jp> E-mail: info@kyokuto-bk.co.jp